

報道関係者各位

2025年10月15日
大和地所レジデンス株式会社GOOD DESIGN AWARD
2025年度受賞「ヴェレーナグラン江ノ島鵠沼海岸」が
2025年度グッドデザイン賞を受賞

大和地所レジデンス株式会社（東京都港区、代表取締役社長:下村俊二）は、2024年度竣工の「ヴェレーナグラン江ノ島鵠沼海岸」において、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2025年度グッドデザイン賞」を受賞しましたことをお知らせします。2021年度受賞の「オープンエアリビングバルコニー」に続き、2度目の受賞となります。



■ ヴェレーナグラン江ノ島鵠沼海岸

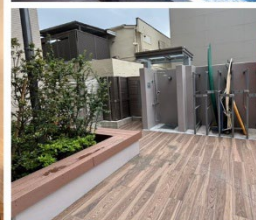
- 所在地／神奈川県藤沢市鵠沼海岸一丁目
- 敷地面積／1,520.21 m²（建築確認対象敷地面積）
- 建築面積／607.79 m²
- 建築延面積／2,724.56 m²
- 構造・規模／鉄筋コンクリート造 地上5階建
- 総戸数／32戸
- 入居開始／2024年6月
- 設計・監理／(株)設計工房デザインシステム
- 施工会社／(株)富士工
- デザイン監修 (株)カーサデザイン・コンサルタント
- 植栽デザイン 東邦レオ(株)

■ 多世代が海と共生する、新しいコミュニティの形

歴史ある別荘地、神奈川県鵠沼海岸に位置する本物件は、戸建ての街並みに調和するようにバルコニーを分節したデザインが特徴です。都心へのアクセスも良い立地で、集合住宅でありながら戸建てのような暮らしを創出しました。

海まで徒歩5分という利点を活かし、サーフボード置き場や温水シャワーブース前にベンチを配置。海のレジャーやペットとの散歩帰りに、自然と住民の語らいが生まれるよう設計しました。また、1階住戸には直接アクセス可能な土間を設け、海と共にある暮らしをサポート。

全32戸の小規模ながら、1LDKから100㎡超のメゾネットまで21種類の多様なプランを展開。幅広い層の人々が快適に暮らせるよう世代を超えて受け継がれるコミュニティの形成を目指し、豊かな自然と利便性を両立する、鵠沼海岸に根ざした唯一無二の住まいを企画しました。



■審査員評価コメント

湘南・鵠沼海岸の落ち着いた戸建住宅地に調和するよう丁寧に設計された集合住宅である。外観は水平ラインを基調とし、バルコニーを分散配置することで、周囲の街並みに自然に馴染む構成となっている。部分的に跳ね出したバルコニーは、プライバシーの課題もあるためあまり見かけないデザインではあるが、街に住民の個性や豊かな表情を与えるものとして評価できる。全32戸に対し21タイプもの住戸を用意しており、1LDKから100㎡超のメゾネット、屋上テラス付き住戸など、多様なライフスタイルに対応する柔軟性を持たせている点が特徴的である。また、湘南の暮らしに寄り添う機能性も随所に見られる。1階住戸には外部から直接アクセスできる土間を設け、マリンスポーツやペットとの生活を意識した設計がなされている。共用部にはサーフボード置場や温水シャワー前のベンチ、特に津波時の一時避難場所としても活用できる屋上テラスなど、地域とのつながりを意識した工夫が施されている。地域の歴史や自然環境に配慮しながら、多世代が快適に暮らせる住まいを目指した姿勢が感じられ、湘南らしいライフスタイルを実現する住環境として評価できるプロジェクトである。

プロデューサー 大和地所レジデンス株式会社 代表取締役社長 下村 俊二
ディレクター 大和地所レジデンス株式会社 建築企画部 北川 英岳
デザイナー 大和地所レジデンス株式会社
株式会社カーサデザイン・コンサルタント、東邦レオ株式会社

■大和地所レジデンス 《グッドデザイン賞受賞特設サイト》

<https://www.daiwa-r.co.jp/gooddesign/>

■2021年度受賞の「オープンエアリビングバルコニー」



奥行約4m×広さ約10畳 リビングと一体となったバルコニー

「オープンエアリビングバルコニー」は、室内リビングのその先に4mほど大きく外側に張り出し、およそ10畳の空間が広がるバルコニーです。

ウッド調デッキが敷かれたバルコニーは、リビングの全開口サッシを開け放つと、2つの空間がほぼフラットにつながるのが特徴。また、スロップシンクやシーリングライトなどの設備が備えられているため、ランチやカフェを楽しんだり、観葉植物の育成、子供の遊び場としてなど様々な使い方が可能です。

【本リリースに関するお問い合わせ先】 大和地所レジデンス株式会社 総務部

TEL: 03-3509-1380(代表) / E-Mail: otoiawase@daiwa-r.co.jp / URL: <https://www.daiwa-r.co.jp/>